

TEL FOR GOOD の展開

東京エレクトロンの社会貢献活動は、ステークホルダーの皆さまとの信頼関係を深めるとともに、さまざまな活動を通じて社会課題の解決と地域社会の発展に貢献することを目的としています。

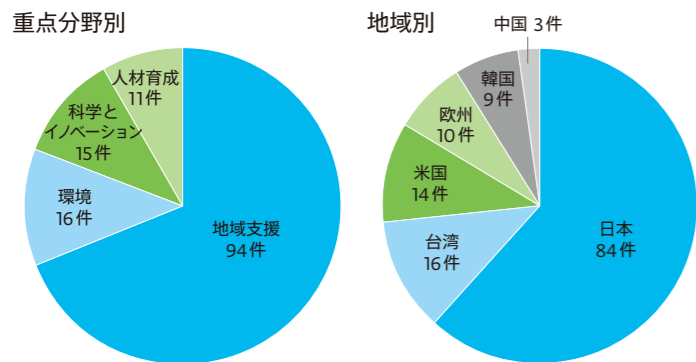
当社は、以下の4つの重点分野を定め、半導体およびフラットパネルディスプレイ製造装置のメーカーとして科学とイノベーションを重視するとともにそれを支える人材育成に注力し、また地球環境の保全を目指す一方でグローバルに事業を展開する地域とのコミュニケーションや支援を推進しています。

事業を通じた取り組みに加え、TEL FOR GOOD の活動により SDGs の達成に寄与できるよう努めています。

4つの重点分野



TEL FOR GOOD 活動件数 (2020年度)



TEL FOR GOOD (テル・フォー・グッド) は、私たちの社会貢献活動を表すブランドネームです。2018年度より、世界各地でTELグループの主催する社会貢献イベントや各種プログラム、寄附やボランティア活動などの総称として運用しています。

Special Topics

グローバルパンデミックの終息に向けての支援

当社は新型コロナウイルス感染症の拡大防止への支援活動と、一日も早い感染の終息と日常生活が戻ることを願い、1億円の義援金を国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC*)へ拠出しました。



*IFRC: The International Federation of Red Cross and Red Crescent Societies

令和2年7月豪雨に対する支援

当社は、2020年7月に九州地方を中心に発生した集中豪雨に対し、被害にあわれた方々の救済と被災地域の速やかな復旧と復興を願い、1億円の義援金を熊本県へ拠出しました。



*写真提供: 人吉市

世界各地の取り組み

韓国 半導体奨学金

Tokyo Electron Korea では、韓国半導体産業協会が主催している半導体奨学金の制度に賛同し、半導体メーカーやデバイスメーカーの協力のもと、2008年より半導体に関連する優秀な人材の奨学支援をおこなっています。これまでは半導体学を学ぶ理工系学生の中から優秀な学生1名を選出し、約100万円の半導体奨学金を給付していましたが、2020年度からは対象を2名に増やしました。半導体奨学金の授与式は、毎年10月29日に開催される韓国半導体の日の記念式にて実施しています。



日本 サイエンス・インカレ

サイエンス・インカレは大学生・高専生による自主研究の成果発表の祭典で、当社は第1回大会から特別協賛しています。発表の場を提供することで、学生の研究意欲を高めるとともに、独創的で創造性豊かな科学技術人材を育成することを目的としています。2021年1月25日から2月28日にかけて第10回大会がオンラインでおこなわれ、ファイナリスト40組60名が参加しました。これまでに延べ1,900名以上の学生が研究発表をおこないました。



米国 テキサス大学・オースティン校での Girl Day

Tokyo Electron America は、テキサス大学オースティン校のWomen in Engineering Program と提携し、工学分野における女性の活躍と発展を促進しています。このプログラムでは、中学生までの生徒を対象に150以上のSTEM*1アクティビティが用意され、企業パートナーやボランティアが主催者として、生徒たちにSTEMのテーマを探求する機会を提供しています。2020年度は、10名の従業員がこの活動の準備をおこない、AR元素周期表*2を用いて家庭にある共通元素を調べるアクティビティを実施しました。



*1 STEM: Science, Technology, Engineering and Mathematics
 *2 AR 元素周期表: 当社が作成した拡張現実 (AR) を駆使した元素周期表広告が、2017年6月30日にギネス世界記録に認定されました

台湾 新竹日本語補習授業校の支援

Tokyo Electron Taiwan の本社がある新竹では、駐在する日本人のうち中学生以下を対象とした日本語の補習や発表会をおこなっており、2020年度には36名の生徒が参加しました。補習校では、運営から実際の先生役まですべてをボランティアでおこない、日本語を中心とした授業を毎週末2時間実施しています。この補習校は生徒たちが日本語を勉強できる数少ない貴重な場所であり、毎年Tokyo Electron Taiwan から寄附金を拠出し活動をサポートしています。



日本 「東京エレクトロンの森」森づくり活動

東京エレクトロン宮城では、森の環境保全のため2017年度より継続して森づくりをおこなっております。2020年度は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から8名による少数精鋭で、間伐や植樹、また遊歩道や橋の整備などの森づくり活動をおこないました。間引かれた木々は有効活用のため大和町の小中学校へ提供し、コマや笛の教材に使用されました。



日本 水資源涵養植林活動

熊本県は水道水源の80%を地下水に依存しており、特に熊本市水道は100%地下水で賄っているため、地下水保全は将来の水資源確保のために重要な活動です。東京エレクトロン九州は2006年から阿蘇南外輪の西原村で地下水涵養に適した「広葉樹の森づくり」に取り組んでおり、2020年度には、下刈や補植などを実施しました。これまで約2,800名の従業員とその家族がこの活動に参加し、延べ4.2haに13,810本の植樹をおこないました。



欧州 バーチャルランニングイベント

Tokyo Electron Europe では、コロナ禍におけるロックダウンのため参加社員の各自宅周辺にてバーチャルランニングイベントを実施しました。社内で結成したチームで目標距離を設定し、各自TELロゴ入りのTシャツを着て走破した距離に応じてマッチングファンドを算出した結果、合計で約800ユーロになりました。このマッチングファンドを地元ドレスデンにある癌にかされた子どもたちや家族のためのチャリティー団体Sonnenstrahl e.V.に寄附しました。



日本 新型コロナウイルス感染症拡大防止支援

東京エレクトロン テクノロジーソリューションズでは新型コロナウイルス感染症拡大防止支援として、事業所を置く山梨県および岩手県へそれぞれ1,000万円を寄附しました。寄附金は、PCR検査時に迅速な結果の確認が可能となる機器の購入など両県の感染症対策事業のために活用されています。

